

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

## 研究協力のお願

昭和大学歯科病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

口腔機能低下症検査の多変量解析による妥当性の検証（後方視的研究）

### 1. 研究の対象および研究対象期間

2018年7月～2024年12月に当院にて口腔機能低下症の検査をされた方

### 2. 研究目的・方法

口腔機能低下症が保険導入されましたが、年齢性別によらず、同じ基準値で判定されています。したがって、中年では年齢に相応しい口腔機能がなくても、口腔機能低下症と診断されず、高齢者や超高齢者では年相応以上の口腔機能であっても、「口腔機能低下症」と診断されるという問題点があります。老化により口腔機能が低下し、性別による差があることを考慮して、口腔機能が年相応かどうかを示すことができれば、お口の管理が容易く行えると思われま

す。そのために、現在の口腔機能低下症の検査を詳しく調べることにより、各年代の正確な口腔機能低下の値を導き出すために本研究を計画しました。

この研究は学術研究です。当院に受診されている患者様のデータを利用させていただきます。患者様データは病院内の診療録管理室にて口腔機能低下症に関する情報（口腔不潔、口腔乾燥、咬合力、舌口唇運動機能、低舌圧、咀嚼機能、嚥下機能）のみを取得します。取得した情報は、本研究者間のみで情報を共有します。

診療情報の利用に伴う同意取得の方法：院内掲示又はホームページによる情報提供を行います。研究概要（研究目的・調査内容等）を適切に通知・公開します。診療録情報の利用について同意後でも撤回を申し出ることは可能です。

### 研究期間

2019年5月21日～2026年3月31日

**3. 研究に用いる試料・情報の種類**

情報：病歴、口腔機能低下症の検査データ、年齢、性別

試料：特にありません

**4. お問い合わせ先**

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

昭和大学歯科病院内 歯学部口腔健康管理学講座口腔機能管理学部門医局

大澤淡紅子（研究責任者）、古屋純一、下平 修

〒145-8515 東京都大田区北千束 2-1-1

電話：03-3787-1151（内線 236）、FAX：03-3787-3971

E-mail：tokiko@dent.showa-u.ac.jp（大澤淡紅子）